

## 石屋のイロハ(3)

今回は、石材の丁場(採石場)の話をしたと思います。

丁場の大半は険しい山に有り、採石を行う為だけに道を切り開いて行く様な所も多いです。まれには町に近い所もあったり島全体が石山と言える瀬戸内海の丁場などもあります。石の区別に関しては、例えば「御影石」と名の付く石でも産地が異なると石の結晶・色目・硬さ等の特徴の違いから「〇〇石」と呼び名が区別されています。また同じ一つの山の丁場でも(つまり採れる石は同じです)採石する場所によって組成の結晶の大きさが異なり、色の濃淡に違いが出る事があります。山全体からみて、今どの位置で採石しているかを知る事が大変重要だと思えます。

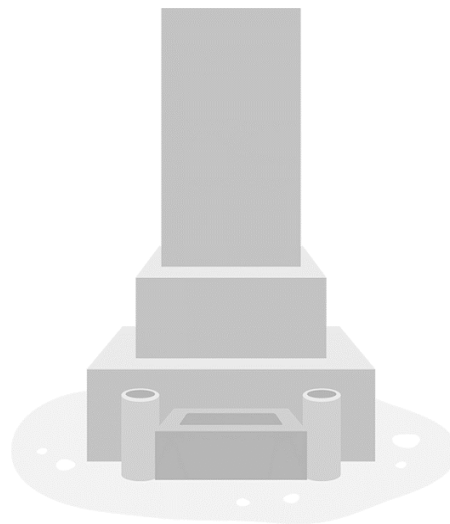
先日取引先の中国福建省の山を見に行き、日本の石屋さんは採石場視察に来ますかと尋ねてみたところ、私を含めて3~4人との返事でした。石屋はお客様の代わりとなって御希望にあった石を選択するという事も大切な仕事です。その為には耳からの情報だけでなく、丁場に足を運び、山で石を割り採石している人と直接話をする等、自分の目で確かめ、特徴や情報を掴んでおくことを心がけねばと考えています。



↑ 茨城県笠間市  
稲田御影石の丁場写真

【齋藤 繁樹】

この記事は諸事情によりHP掲載版では削除致しました。



## 暮らしに石を(3)

### 編集後記

今号もお読みいただきありがとうございました。今回から編集長を務めます。慣れない編集作業でしたが、読み難くなければ幸いです。冬太りが全く解消しませんが、努力もしていないので仕方ない今日この頃です。次号は4月頃の発行予定です。ではまた。

【齋藤 勇介】



### 石のお皿

お皿と言えば陶器やガラス、金属が一般的ですが、石のお皿も味わいがあります。

「ねじ梅」と「葉っぱ」のお皿です。葉っぱは葉脈もあります。お茶菓子等にいかがでしょうか。

このニュースレターに関するお問い合わせ・ご意見・ご要望はこちらまでお願いします。  
お届け先の変更や、ニュースレター送付不要の際もお知らせいただければ幸いです。(担当: 齋藤 勇介)

(有) 齋藤石材店 〒950-3321 新潟市北区葛塚4804 Tel:025-386-3491 Fax:025-386-3493  
E-mail:saitougs@beach.ocn.ne.jp ホームページ:http://www.saitougs.com/